

平成 22 年 3 月 2 日

議長のお許しをいただきましたので、町政の諸般並びに平成 22 年度予算編成についてご報告申し上げます。

めに、社会経済情勢であります。

まず、景気の動向であります。内閣府が 2 月 15 日に発表した昨年 10 - 12 月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比 1.1%増、年率換算では 4.6%の増となり、3・四半期連続のプラス成長を記録いたしました。生活実感に近い名目 GDPにおいても、7・四半期ぶりにプラス成長に戻っており、景気が「二番底」に陥る可能性は、薄らいだようであります。

一方、先月始めに発表された「毎月 勤労 統計調査」によりますと、昨年の労働者 1 人当たりの「月間 現金給与 総額」は、31 万 5 千円余りで、前の年より 3.9%減っており、前年と比較できる平成 3 年以降で最大の減少率でありました。消費者物価の変動を加味した「実質賃金指数」の推移を見ますと、ピークであった平成 8 年及び 9 年から 1 割近く落ち込んでおり、この 10 年余りにおける所得水準の低下が如実に現れております。一昨年来の経済危機は、国民の生活に大きな脅威を与えておりますが、中長期的な流れで見ても、ますますグローバル化が進む世界経済の中で、日本企業の競争力は明らかに低下しつつあります。

懸案の若年層の雇用確保を始めとして、今後の国民生活を守っていくためには、官民の知恵を結集し、資源に恵まれない「わが国」が、どう世界と伍していくのか、できるだけ早く「新たな成長戦略」を構築する必要性を強く感じております。

次は、オリンピックの話題であります。

先ごろ閉幕しました、第 21 回冬季五輪「バンクーバー大会」では、世界の頂点に立つ選手たちによって、鍛えぬかれた技と力が披露され、私たちに大きな興奮と感動をもたらしてくれました。日本選手も、それぞれが持てる力を十分に発揮され、スピードスケートとフィギュアスケートで銀 3 個、銅 2 個の計 5 個で、メダル数では、過去 3 位タイとなりました。4 年後の開催地のロシア・ソチでは、更なる熱き戦いとなりますことを期待するものであります。

それでは、町政の諸般についてであります。

まず、総務部の関係であります。始めに、平成 21 年度一般会計の決算見込みであります。今定例会に提案をいたします補正予算案から推測しますと、決算額は、前年度から繰り越した定額給付金事業費等の 7 億 9 千万円を含めて、歳入が 130 億円、歳出が 125 億円ほどになる見込みであります。歳入歳出差引額は 5 億円ですが、22 年度に繰り越す事業費が 6 千万円弱ございますので、実質収支額は、4 億 4 千万円ほどと見込んでおります。歳入におきましては、特に町税の収入見通しにつきまして、幸いにして、「町たばこ税」を除く全ての税目で、当初予算額を上回るメドがつかしました。一方、3 款以降の各種交付金においては、景気の影響をまともに受けるものが多いことから、相当に厳しい状況になっておりまして、最終的には、予算額に達しないものが出てくる可能性があります。なお、今回の補正予算では、7 億 2 千万円ほどの減額予算

を提案させていただきます。主なものは、武豊中学校耐震改築工事の請負減と前払い金の執行がなかったことによる6億5千万円余りの減額でありまして、その他、例年と同様、年度末における各事業の精算見込みによる予算の整理、並びに、その財源である国・県補助金や負担金、町債等に係る補正を行うものであります。合わせまして、景気の低迷により、来年度以降も町税を始め、経常的な収入の減少が必至の状況にありますので、耐震対策を始めとする来年度以降の行政需要に適切に対処していくため、当面の財源確保の手立てを講じております。具体的には、今年度の所要財源については、町税の増収見込み1億5千万円と新たに借り入れる「減収補てん債」1億5千万円で賄うことにより、財政調整基金からの繰入れを減額し、その温存を図る予定であります。

次に、工事の入札及び検査の執行状況であります。

工事の入札執行状況につきましては、平成21年度中に入札に付した工事は、今のところ110件で、平均落札率は83.81%と前年度より3.93ポイント低下をしております。また、20年度から導入した電子入札につきましては、工事関係の委託業務にも拡大したところでありまして、今後、物品についても導入を検討してまいります。工事の検査は、先月末までに65件について実施を致しまして、いずれも合格と認めました。継続事業を除く、残り39件の工事につきましても、年度末までに順次検査を行ってまいります。

なお、課題としておりました建設工事の発注基準及び最低制限価格の見直しであります。内部で検討を重ね、改正案がまとまりましたので、来年度から新しい基準により実施してまいりたいと考えております。内容につきましては、この3月10日に開催予定の行政報告会で説明させて頂きましますので、よろしくお願い致します。

次に、地域公共交通の関係であります。

来年度のコミュニティバス試行運行に向け、地域の皆様のご意見等をお伺いするため、区長さん方のご協力のもと、1月下旬に運行ルート別の地区説明会を3回開催致しました。会議の内容は、町のホームページに掲載してございますが、試行運行の計画等に関して、出席者の皆さんから様々なご意見を頂戴致しました。「地域に愛され、地域が育てる公共交通」の視点から、今後ともこうした会議を適宜開催し、より多くの住民の皆さんにご利用頂けるようなシステムづくりを図ってまいりたいと考えております。

なお、明後日3月4日に、第4回の地域公共交通会議を開催いたします。その場で「地域公共交通総合連携計画」の成案が得られましたら、来年度予算の成立を待って、7月の試行運行開始を目途に鋭意事務を進めてまいりたいと考えております。

次に、防災関係であります。

去る1月24日、「ゆめたろうプラザ」輝きホールにおいて自主防災会講演会を開催し、約300名の参加を頂きました。元トヨタ自動車ボランティアセンター長の鈴木盈宏（すずき みつひろ）さんを講師にお招きし、「被災地から学んだボランティア活動」と題して、被災地でのボランティア活動の体験談を交えながら、災害時のボランティア活動の真髄を教示していただきました。特に、被災地における「ボランティアコーディネーター」の心構えとして、「人を動かすのではなく、心を動かさなくてはならない。」という指摘などは、そのまま行政にも通ずるものであり、深く心に残りました。

次に、消防関係であります。

消防団活動と致しまして、1月24日に、八幡社において「文化財 防火訓練」を行いました。そ

の後、名古屋市野外センターに場所を移し、近くに消防水利がない林野・山林火災を想定し、ホース延長及び中継送水要領を取得するための実戦的な訓練を行いました。また、この１年間の団活動の総仕上げとして、来る３月２１日・日曜日に、中央公民館東広場において、「消防団観閲式」を挙行いたします。議員各位にも是非ご参観をいただき、団員の労をねぎらっていただければと思います。

次に、交通・防犯関係であります。

本町の平成２１年中の交通事故は、２４１件・２９１名で、前年に比べ３件・１１名の増加でありました。特に、６５歳以上の高齢者の事故が増えており、町内で亡くなった２名の方は何れも高齢者でありました。今後も、高齢化の進行に伴い、こうした傾向が続くものと思われますので、高齢者の安全対策が大きな課題となっております。こうした中、２月１６日に交通安全推進協議会を開催し、本年の交通安全推進計画等を定めました。高齢者の事故防止を含め、まちを挙げて、さらなる「交通事故 抑止対策」を推進する決意をしたところであります。

一方、防犯関係では、「忍び込み」「空き巣」といった窃盗犯が、町内で多発しております。その対策の一環として、夕暮れ時から夜間にかけて、交通安全対策・不審者対策も兼ねて、毎週木曜日に町職員による「青色防犯 パトロールカー」の巡視を行っております。また、各地区においても、精力的に防犯パトロールを実施していただいております。

今後とも町民の皆さんの交通安全意識や防犯意識を喚起しつつ、警察、地域・団体と連携して、「交通・防犯対策」を推進し、安全で安心なまちづくりの実現に努めてまいり所存であります。

次は、厚生部の関係であります。

まず、多賀授産所の関係であります。多賀授産所では、本年４月からの法定化に向け、社会福祉協議会の

定款変更、嘱託医や看護職員の確保、県へのサービス事業所指定申請等、所要の手続きを進めているところであります。また、「せんべい製造施設」につきましては、昨年１２月から本格的な稼動をしており、製造量は現在のところ、従前の約１５％増となっております。売り上げも、町内の企業等からの大口注文に加え、マスコミ報道等により、遠方からの個別注文をいただくなど、順調に伸びている状況であります。

次に、「憩いのサロン事業」についてであります。大足、玉貫、上ヶ、馬場、富貴、東大高会場に続き、７か所目の北山会場が、今年１月１８日に開所いたしました。区長さんを始め、民生委員さん、運営ボランティアの皆様にご尽力を賜り、どの会場も活気にあふれ、楽しく、無理なく健康づくりを行っていただいているところであります。会場や運営スタッフの問題もありますが、今後、更に会場を増やし、介護予防に努めてまいりたいと考えております。

次に、「六貫山保育園 耐震改築工事」の関係であります。２月１５日～１７日にかけて、「制限付き 一般競争入札」を行いました。本３月議会に、契約議案３件を上程させて頂いております。今後は、本契約後、直ちに工事着手、平成２３年２月末頃までに「本体 園舎工事」を完了し、新園舎での卒園式を予定して参ります。また、同年９月末までに、厨房棟の建築と外構工事を完了する予定であります。

次に、あおぞら園の整備工事であります。あおぞら園を多賀保育園から東大高保育園へ移設するため、園内に「感覚統合室」の建築と既設保育室等の改修工事を行いました。本年４月の開設に向け準備作業を進めると共に、保護者説明会を開催し、利用児童と保護者がスムーズに移行で

きるよう、きめ細かな配慮をして参りたいと考えております。

次に、「保育園等基本方針」の策定状況であります。昨年12月21日から本年1月20日にかけて、パブリックコメントや保護者アンケートを実施し、意見・要望等の把握に努めました。2月15日開催の第3回「保育所 運営審議会」で、方針（案）は「妥当」である、との答申を頂きました。次年度以降、この方針に基づき、具体的な整備計画を策定して参りたいと考えております。

次に、後期の「次世代 育成支援 地域行動計画」の策定状況であります。昨年12月24日に、2回目の「計画策定協議会」を開催いたしました。今年度行いました事業所アンケート、グループインタビュー、ワークショップなどの現況調査を参考に、計画（案）を審議いただきました。また、1月15日から2月15日にかけて、パブリックコメントを実施いたしました。今後は、3月中に3回目の「計画策定協議会」を開催し、計画案の取りまとめをして頂く予定であります。

次は環境関係で、レジ袋についてであります。昨年3月よりご協力を頂きました町内の42店舗等では、レジ袋の無償配布を中止して一年が経過しました。その中で、廃業や販売方法等により4店舗が辞退され、現在38の店舗等にご協力頂いております。3箇月毎に協力店から報告を頂いております、来客数と販売枚数から想定し、昨年9月～12月のレジ袋辞退率は90％であり、当初目標の80％を上回っております。今後とも「マイバック 使って広げる エコライフ」のキャッチフレーズのもと、推進して参ります。

次は、「衣浦港3号地 廃棄物 最終処分場」の関係であります。去る2月18日、財団法人 愛知臨海環境整備センターの理事会が開催され、理事として出席いたしました。今回の理事会では、平成21年度補正予算及び平成22年度予算を始め7つの議案について、慎重審議がなされ、全議案とも可決決定がなされました。

次は、「知多 南部地域 ごみ処理 広域化事業」の関係であります。昨年12月議会で「知多南部 広域環境組合」の設置につきましてご可決を頂き、その議決書を添付して、1月5日付で愛知県に「組合設置許可申請」を提出、2月1日付けで、組合設立許可の通知を頂いております。今後は、4月1日に新組合となる「知多南部 広域環境組合」を設立し、組合事務所を半田市クリーンセンターに置き、その事務は、構成市町であります、2市3町からの派遣職員等で進めていく予定であります。

次は、新型インフルエンザ接種等の状況であります。町内の「受託 医療機関」での、昨年10月から本年1月末日までの予防接種の状況は、3,038名、接種率は約7.1パーセントでありました。医療機関によれば、接種のピークは、昨年12月で、本年1月から下降気味であるとのことでありました。また、「新型ワクチン接種費用」の「負担 軽減対象者」5,599名の内、3月末の利用者見込み数は189名、利用率としては、3.3パーセントと非常に低い状況となっております。

次に、女性特有の「がん検診 推進事業」であります。国の、「女性 特有がん検診 推進事業」に基づき、本町では、昨年9月から、特定年齢の女性を対象に、検診無料クーポンを発行してきております。

次は、産業建設部の関係であります。

始めに、道路事業であります。県事業の状況であります。知多東部線は、予定通り平成22年度末の供用を目指して、工事を実施しているとのことでありました。次に、富貴線及び「国道247号 富貴駅東交差点」につきましては、現在、用地交渉を進めておりますが、2月末現在、富

貴線の「用地取得面積比」は、72%、富貴駅東交差点が、60%となっております。2つの事業とも、来年度から一部、工事着手を予定しており、早期完成を目指して進めているとのことであります。

次に、榎戸大高線は、現在、日油衣浦工場の東の「都市計画道路 六貫山線」との交差点部分の用地交渉を進めているところであります。

次に、臨港道路武豊美浜線は、一部、植栽工事を除き3月末には、工事が完了するとのことであります。

次に、「国道247号 石川橋交差点 改良事業」につきましては、今年度、「交差点 詳細設計」と歩道橋の設計を実施しまして、来年度、用地買収を進める予定と聞いております。また、知多東部線の交差点改良事業も今年度、砂川橋南交差点と祠峯二丁目北交差点の2箇所の工事が完了しました。来年度も引き続き、未整備箇所の改良事業を進める予定と聞いておりますが、早期完成するように今後も、県に対しまして要望活動を継続してまいります。

続きまして、町事業であります。まず、武豊港線であります。野菜茶業試験場の西側の整備に当たり、今年度より、当面、南側の歩道設置に必要な用地取得を進めております。2月末現在、14件の地権者の内、6件の用地買収契約を締結済みで、来年度より、一部、工事着手しながら、平成26年度完了を目指し、引き続き用地交渉を進めていきます。また、今年度までの予定で進めてきました北石川橋から北へ向かう町道前田・石川線の舗装改修工事は、完了しました。

次に、知多半島全域で一体となって促進を計画しております、「知多半島観光圏協議会」の事業計画がまとまり、2月19日に、協議会の代表であります半田市市長より国土交通大臣に認可申請書を提出させて頂いたところであります。国の認可がなされて、地域の観光産業並びに、地域の活性化が知多半島一円に広がりますことを期待するものであります。

次は、農業集落排水事業であります。平成21年度も引き続き、市原、原田の両浄化センター、マンホールポンプ等の排水施設の維持・点検など通常の維持管理業務を行ってきました。地域の皆様にも、施設の掃除等ご協力をお願いし、今後とも、施設の適正管理に努めてまいります。

次は、下水道事業であります。本年度、計画しました面整備工事30.0haにつきましては、順調に進んでおります。本年度末には、処理区域面積も604haとなり、計画面積の652haに対し、92.6%の整備率となります。また、普及率は、75.8%となる見込みであります。

次は、水道事業であります。耐震対策として進めてまいりました石綿管の改修工事につきましても、計画通り、順調に進んでおります。また、昨年度から引き続きの工事となります、「上山統合ポンプ場」も完成し、順次、切り替えを実施致しました。この事により、上山・緑台・多賀の地域に、安定した水の供給が図られるものと考えています。このほか、下水道関連工事等につきましても、順調に進んでおり、引き続き、安全管理に努めつつ、工事を進めてまいりたいと考えております。

次は、教育委員会であります。

まず、さる2月22日(月)に富貴小学校でジャガイモによる食中毒が発生したことにつきまして触れさせていただきます。総合学習の一環で、1月8日に収穫したジャガイモを調理して食べた4年3組の児童29名のうち11名が、腹痛や嘔吐などの症状を訴えたことについて、対象児童や保護者、関係者に大変ご心配とご迷惑をおかけ致しましたことに、お詫びを申し上げます。

症状を訴えた１１名のうち４名が半田市民病院に入院致しましたが、現在は、発症者を含め、クラス全員が平静を保てるようになっております。また、今回のことを重く受け止め、翌日、担当校長に対して、安全性確保の徹底を指導するとともに、全校で再発防止を図るため、臨時校長会を召集し、徹底を指示したところであります。

次に、１月９日、武豊小学校との姉妹校である韓国ソウルの、「大光（テイカン）初等学校 児童合唱団」のメンバーと、引率者を含め３８名を武豊町へお迎えし、両校との親善交流が行われました。本町での滞在は、４日間でありましたが、成人式のオープニングで合唱団の公演、そして、学校・ＰＴＡ・行政との交流を図るなど、姉妹校としての絆が一層、深められたことと思います。ホストファミリーをお願いした２７家族の皆様には、大変、お世話になり、お礼を申し上げます。なお、平成２２年度は、大光(テイカン)初等学校へ町内の児童たちが２０名ほど、訪問する年となっております。

次に、「学校施設 耐震対策」の関係であります。武豊中学校の耐震改築工事は、工程どおり順調に進み、一部の棟で一階の躯体工事に入っており、今年度末の進捗率は、約１５％程度を見込んでおります。

次に、卒業式の関係であります。中学校の卒業式は、３月８日に予定をしており、総勢４００名の生徒が卒業される見込みであります。小学校の卒業式は、３月１９日に予定をしており、総勢４７１名の児童が卒業される見込みであります。卒業する子どもたちが誇りと希望を持って、心豊かに成長されますことを願うものであります。

次は、学校給食の関係であります。１月２５日から２９日の学校給食週間に、「おいしい武豊をもりもり食べよう」をテーマに、日替わりで地場の産物を多くとり入れた献立で給食を実施致しました。その内容は、武豊町で採れた大豆を使った納豆や、新鮮な大根・人参・ブロッコリーの「野菜」を始め、知多半島で取れた「みかん」、知多牛の牛乳で作った「ヨーグルト」、武豊町で生産された「味噌、たまり、漬物」などで、地産地消を意図した栄養豊かな食品による給食を提供したところであります。また、恒例の、「卒業おめでとうバイキング給食」を、３月２日の富貴中学校を皮切りに、町内６小中学校で行われます。例年、卒業する子どもたちは、楽しみにしているバイキング給食を、笑顔いっぱい、和やかな雰囲気の中で会食し、食事の楽しさ、大切さを大いに実感して頂いているところであります。

次は、「第１１回ゆめたろう スマイルマラソン」の関係であります。去る２月７日の日曜日、幼児から８０歳まで、遠くは岡山県からの参加を含めた約２，８００人のランナーが集い、「夢に向かって 情熱で走れ」をテーマに、沿道の大きな声援を受けながら、元気に疾走されたところであります。大会を支えて頂きました実行委員をはじめ、５００名を超える多くのボランティア、地元企業、団体等の関係者各位に、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

以上をもちまして、町政諸般に関するご報告とさせていただきます。

（次ページより予算編成報告）

次に、平成22年度の予算編成について、ご報告申し上げます。

平成22年度予算案は、一般会計が、前年比18.2%増の147億2,300万円、特別会計及び水道事業会計を含めた全会計の合計が10.1%増の235億3,287万1千円で、いずれも過去最大の規模となりました。その大きな理由は、一般会計においては、喫緊かつ最重要課題である学校・保育園の耐震対策に23億8千万円余を投じるほか、子ども手当の創設で、従来の児童手当より支給額が5億円ほど増えるためであります。また、特別会計におきましては、国民健康保険事業では、保険給付費等の増加により、下水道事業では、面整備事業の拡大により、いずれも予算額が膨らんでおります。

いうまでもなく、わが国経済は、大変、厳しい状況が続いておりまして、自治体財政も、軒並み悪化をしているところであります。もちろん、本町も少なからぬ影響を受けておりますので、行政評価の結果と「総合計画3か年 実施プログラム」における事業計画を基本としながらも、緊急性及び重要性を十分精査し、相当数の事業を次年度以降に先送りすることと致しました。また、実施するものについても、「選択と集中」を基本に、可能な限り、事業費の縮減と経費の節約を図ったところであります。

そうした中でも、最終的には、極めて積極的な形の予算となりました。これは、何よりも、子どもたちの安全・安心の確保と住民生活の維持・向上を優先した結果でありまして、さらに、地域経済の活性化にも大きく寄与するものと考えております。なお、従来からも力点を置いてまいりました子育て支援策の一環として、保護者の経済的負担を軽減するため、保育料及び保育所使用料を一律5%引き下げる予定もしております。引下げ額は、園児1人当たりの平均で年間1万1,700円弱、総額では1,600万円程度となる見込みであります。

それでは、各会計の概要であります。まず、歳入であります。歳入の根幹をなす町税は、総額74億1,490万円で、マイナス2.6%、2億円弱の減収を見込んでおります。

税目ごとに申し上げますと、町民税については、景気後退の影響が22年度から個人町民税にも及んでくるため、全体でマイナス9.9%、3億1,500万円の減少を見込みました。個人町民税は、昨年の労働者の給与総額が過去最大の減少率になったと伝えられていることから、マイナス6.0%、1億4,500万円の減と見込んでおります。法人町民税についても、主要法人の業績見通し等を勘案し、マイナス22.2%、1億7千万円の減収を見込みました。固定資産税は、土地・家屋については家屋の新増築による増収が、また、償却資産は、大手企業の設備投資による増収が期待できることから、合わせて2.9%、1億円余の増加としました。その他の税目については、軽自動車税は微増、町たばこ税は1千万円の減、都市計画税は、2千万円余りの増を見込んでおります。地方譲与税は、1,100万円の減で、地方揮発油譲与税、「自動車重量譲与税」とも減少を見込みました。

次は、交付金であります。3款の利子割交付金から8款の「自動車取得税 交付金」までは、昨今の状況から、軒並み減少するものと見ております。金額的に大きなものは、地方消費税交付金が1千万円、自動車取得税交付金が1,600万円の減でありまして、自動車取得税の場合は、新車販売の不振よりもエコカー減税対象車へのシフトが進んでいることが、要因であります。唯一、ゴルフ場利用税交付金につきましては、前年度予算における減少見込みが過大であったため増額

としました。

次に、地方特例交付金は、「国の恒久的減税による減収を補てんするための 減税補てん 特例交付金」が廃止された際に、経過措置として設けられた特別交付金が、21年度で期限切れになる関係で、2千万円の減を見込んでおります。

分担金及び負担金、並びに、使用料及び手数料につきましては、保育料と保育所使用料の引下げに加え、保護者の所得減による減収も見込んだものであります。

国庫支出金は、補助制度の新設や臨時的な事業の有無により、その額が大きく変動しますが、22年度は子ども手当の創設と普通建設事業の増加により、8億4千万円余の大幅増となります。

県支出金は、1億2千万円ほどの増額を見込んでおりまして、「介護訓練等 給付費」に係る県負担金の増額と、国勢調査や参議院選挙、知事選挙に係る委託金の交付が大きなものであります。

次に、繰入金につきましては、財源不足を補うため、前年度の2倍以上となる22億5千万円を計上しております。

財政調整基金から13億円、学校・保育園の耐震対策工事の財源として「教育施設等 整備事業基金」から6億5千万円、「福祉施設 整備基金」から3億円を繰り入れる予定であります。

最後に、町債であります。45.2%増の13億5千万円を計上しました。「中学校施設 整備事業債」を5億円、保育園施設整備事業債を2億5千万円、「最終処分場 整備事業債」と「町道整備事業債」をそれぞれ5千万円のほか、臨時財政対策債についても、限度額いっぱいの5億円を予定しております。以上が、歳入の状況であります。

次に、歳出であります。

款別では、民生費の40.4%増と教育費の38.7%増が目立ちます。民生費は、六貫山保育園の耐震改築と子ども手当の支給、教育費は、小中学校の耐震対策工事が要因となっております。また、商工費についても、観光協会の設立を始めとする観光関係事業の強化と、緊急雇用 創出事業費、「新産業立地 促進奨励金」の増により、22.2%の増となります。

次は、性質別の内訳であります。人件費は、共済組合及び退職手当組合負担金の増加があるものの、最終年度となった集中改革プランの定員適正化計画の目標値347人を達成する4人の職員削減と、21年度に引き続く地域手当の「支給率 引下げ」により、一般会計では8千万円ほどの減額となります。ちなみに、全会計での給与減少額は、1億3千万円強であります。

物件費は、前年度に町政55周年記念行事を行った関係で、1億円弱の減となりました。

扶助費は、子ども手当の創設や介護訓練等給付費の増加により、6億5千万円ほどの増額となります。

補助費は、3千万円余りの減ではありますが、「法人町民税 予定納税分」の還付に備えた「過誤納還付金」の計上額を前年度より大幅に減らしたためであります。

次に、投資的経費である普通建設事業費は、総額は35億6千万円弱で、前年度より70.2%、14億7千万円ほどの大幅増であります。耐震対策では、21年度からの継続事業となる武豊中学校及び六貫山保育園の耐震改築に加え、小学校3校、中学校1校の校舎耐震補強工事を行います。これにより、学校・保育園の耐震化は、23・24年度に改築を予定している富貴小学校体育館1棟を残すのみとなります。

このほか、7月から予定する町内巡回バス試行運行のための小型バス2台購入、本町で2か所目となる「南部子育て支援センター」の用地及び建物買収、「総合公園 多目的広場」の整備工事

着手、「やすらぎの森墓園 拡張工事 実施設計委託」などを予定しております。

公債費は、6千万円弱の増となりますが、次年度はさらに増える見込みです。

繰出金は、3億1千万円余りの増加で、国民健康保険事業と下水道事業への繰出し増が要因であります。

次に、特別会計であります。

国民健康保険事業特別会計につきましては、保険給付費及び後期高齢者支援金の増加により、4.9%増の34億3,627万円となります。歳入では、保険税収入の減少で財政基盤が悪化をしております。一般会計からの繰入金を前年比7割増の4億円余りに増額し、補てんを予定しております。

老人保険事業特別会計は、後期高齢者医療への移行に伴い、過年度分の医療給付事務のみとなっております。86.6%減の125万7千円であります。なお、この特別会計は22年度をもって廃止し、次年度からは、一般会計での予算計上となります。

後期高齢者 医療特別会計は、後期高齢者広域連合納付金の減少により、14.6%減の3億5,255万5千円であります。

介護保険事業特別会計は、2.3%増の18億3,078万3千円で、主に、「居宅介護サービス給付費」の増が要因であります。

農業集落排水事業特別会計は、経年による修繕料の増加により、6.9%増の6,811万3千円となります。

また、下水道事業特別会計は、7.5%増の21億4,744万9千円で、富貴の大塚、砂水、籠田地区及び「西側土地区画整理区域内」の面整備を行います。22年度末の整備率は97.7%となり、23年度には市街化区域全域の整備が完了する予定であります。

最後に、水道事業会計であります。予算額は28.5%減の9億7,344万5千円です。収益的収入が、7億6,864万5千円、支出が、7億6,490万7千円、資本的収入が1億0,228万6千円、支出が2億0,853万8千円で、減少の要因は、前年度に「上山統合ポンプ場」が完成したことによる事業費の減であります。

以上が、平成22年度における予算編成の概要であります。

詳細につきましては、明日の予算説明会において、各所管からご説明申し上げますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。